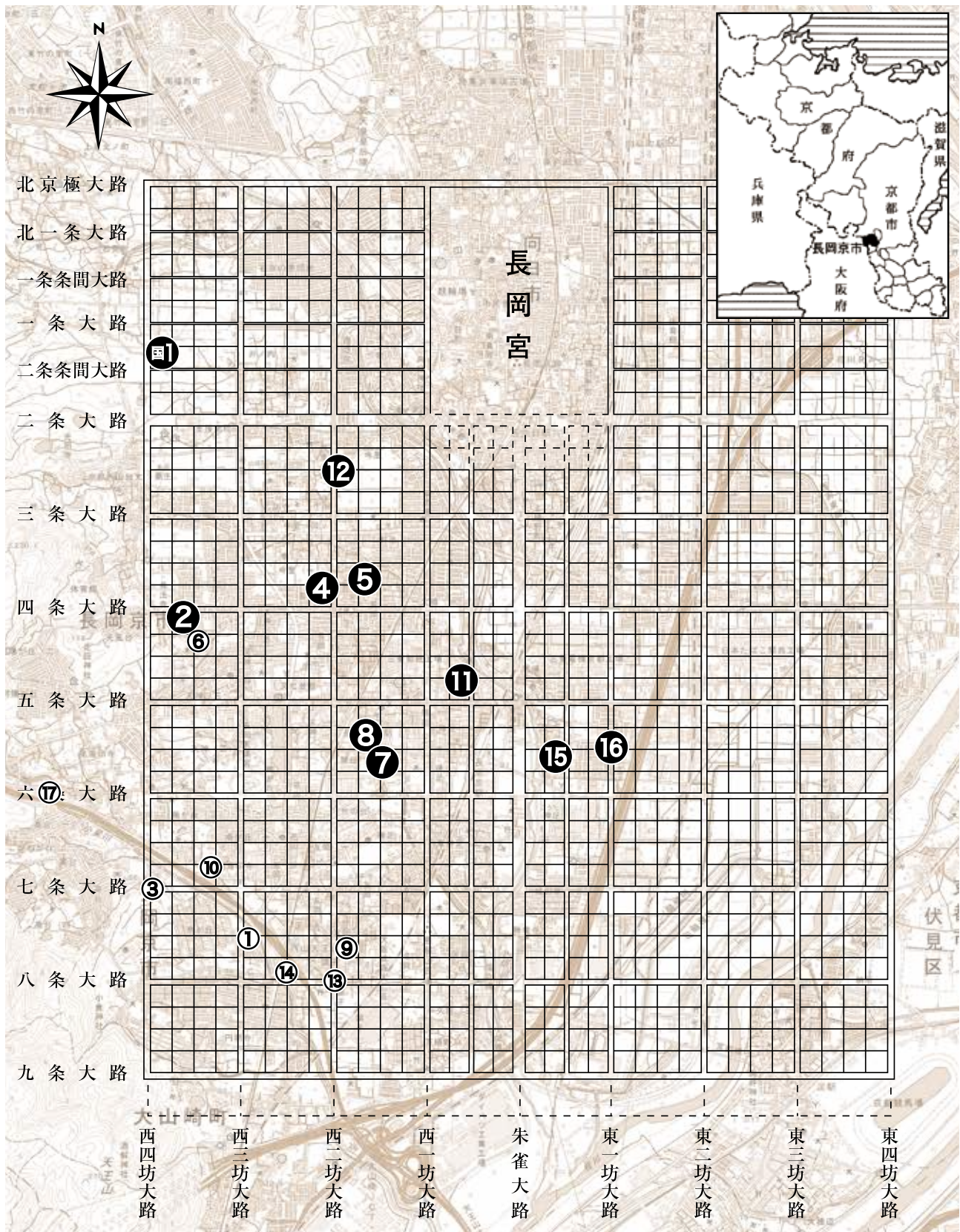


調査成果報告会

公益財団法人 長岡京市埋蔵文化財センター

木村 泰彦



▲ 長岡京条坊復原図と調査地の位置

② 長岡京跡右京第 1110 次調査

調査期間 2015 (平成 27) 年 4 月 6 日～4 月 13 日

調査地 長岡京市長法寺南野 16-1 他

調査遺跡 右京五条四坊九町、長法寺遺跡

調査面積 36m² **担当者** 原 秀樹

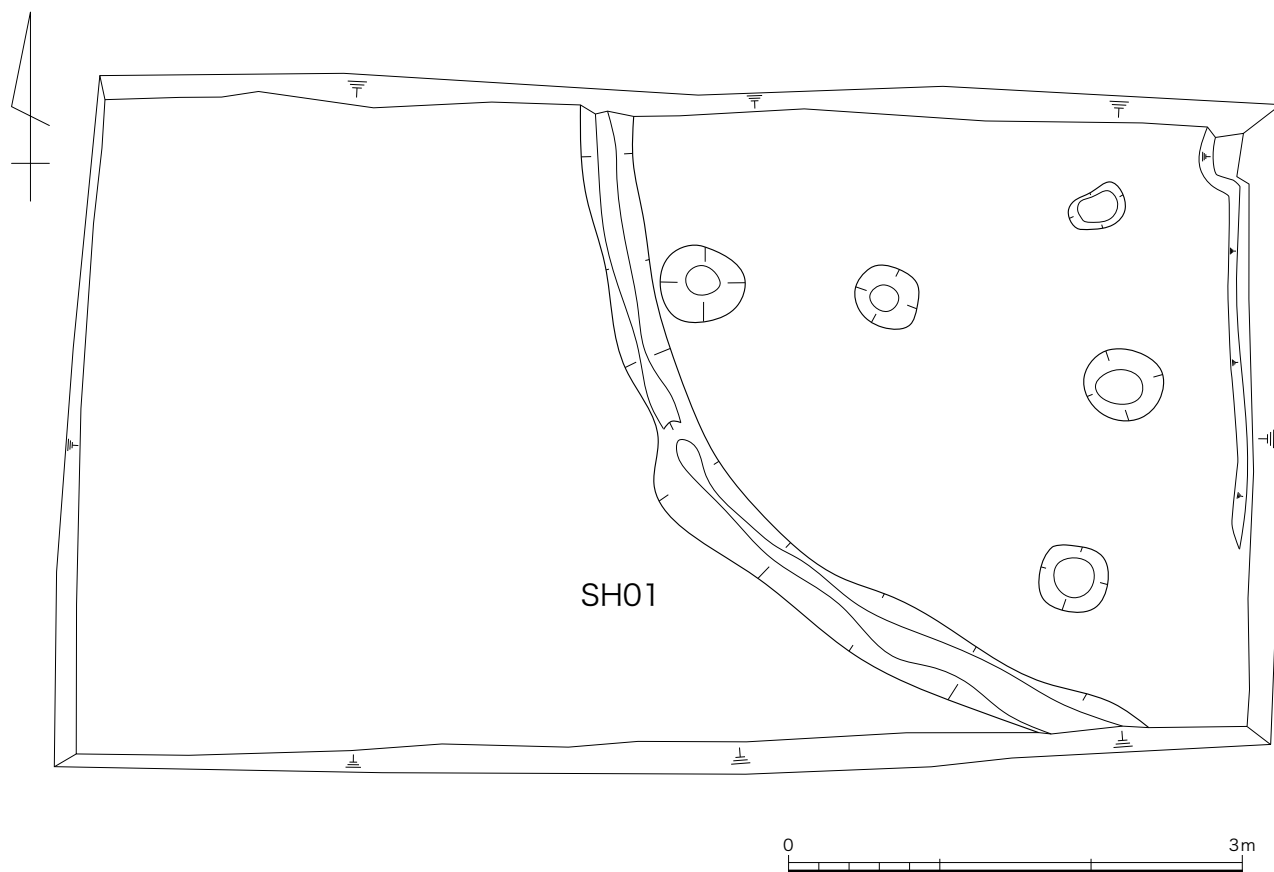
周辺地形 段丘を覆う扇状地 **地表面標高** 45.2 m

調査成果 (弥生)

調査対象地の水田は、東西に約 0.5 m の段差がみられますが、遺構は耕作土以下、水田整地層を除去した平坦な地山面から検出されました。調査区の東側から、弥生時代後期に属する円形の竪穴建物の一部と小穴 5箇所を確認しました。竪穴建物はおよそ直径 8 m に復元されます。周辺の調査成果から、本地点は大規模な溝に区画された居住域に位置することが明らかになっています。



▲ 調査地位置図



▲ 調査区平面図

4 長岡京跡右京第 1112 次調査

調査期間 2015 (平成 27) 年 4 月 21 日～6 月 5 日

調査地 長岡京市長岡三丁目 113 番他

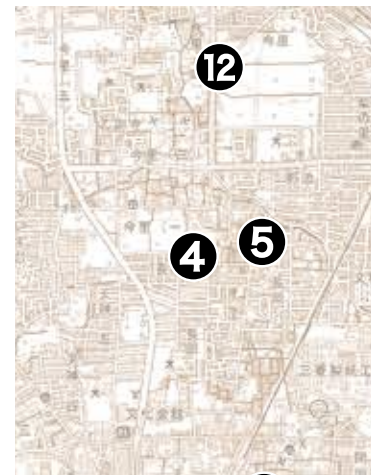
調査遺跡 右京四条三坊四町、陶器町遺跡

調査面積 176m² **担当者** 木村泰彦

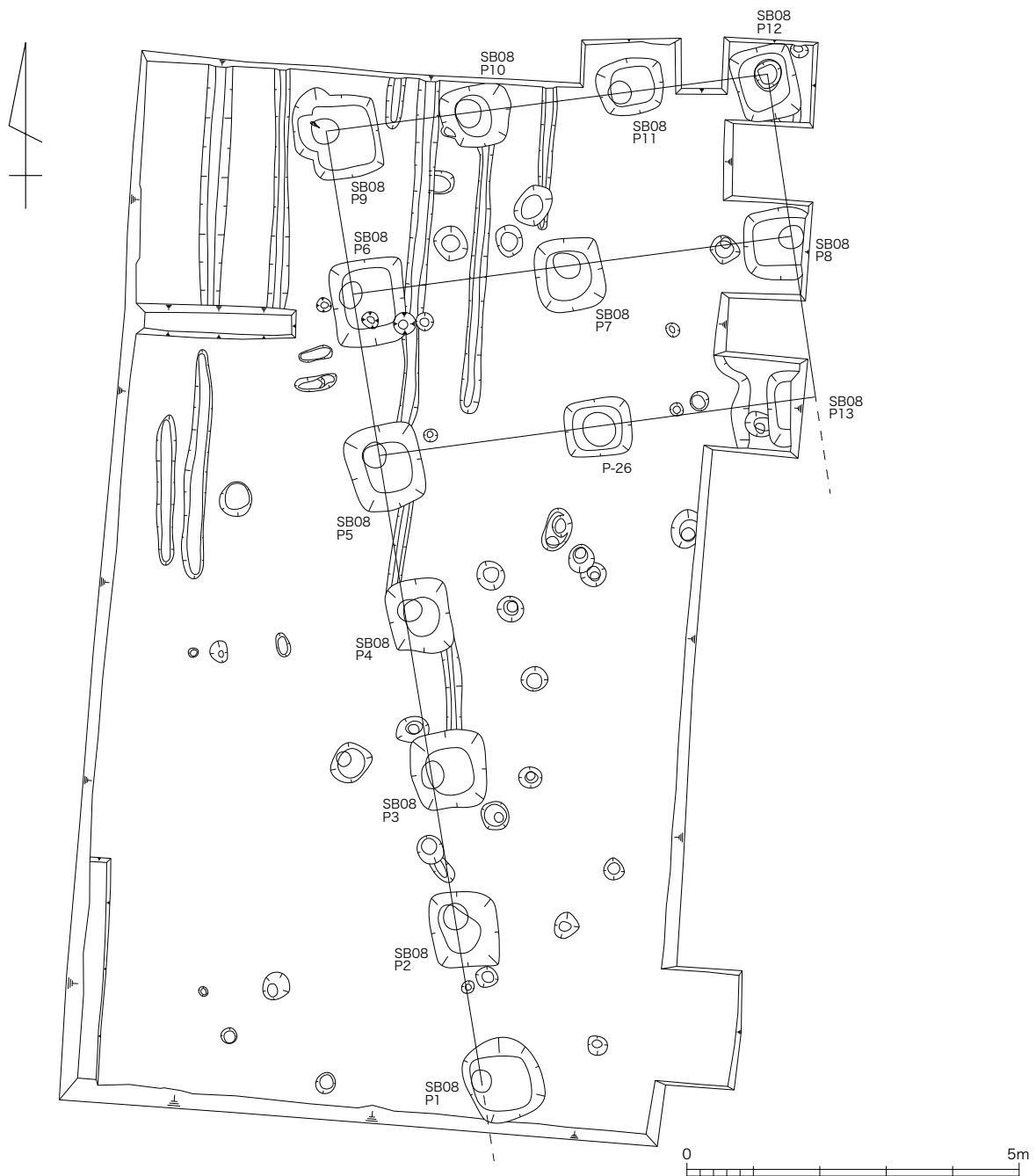
周辺地形 低位段丘 I **地表面標高** 29.9 m

調査成果 (弥生・古墳)

古墳時代では、大型の掘立柱建物、溝、土坑などを確認しました。大型の掘立柱建物は北側二間分に棟持柱を持つもので、豪族居館の一部と考えられます。弥生時代では、斜め方向の溝を確認しています。この溝には後期の土器が多く含まれていました。



▲ 調査地位置図



▲ 調査区平面図

⑤ 長岡京跡右京第1113次調査

調査期間 2015（平成27）年6月1日～7月29日

調査地 長岡京市長岡一丁目12-1

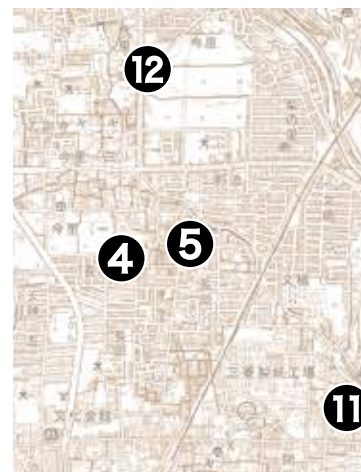
調査遺跡 右京四条二坊十一町、陶器町遺跡

調査面積 246㎡ **担当者** 中島皆夫

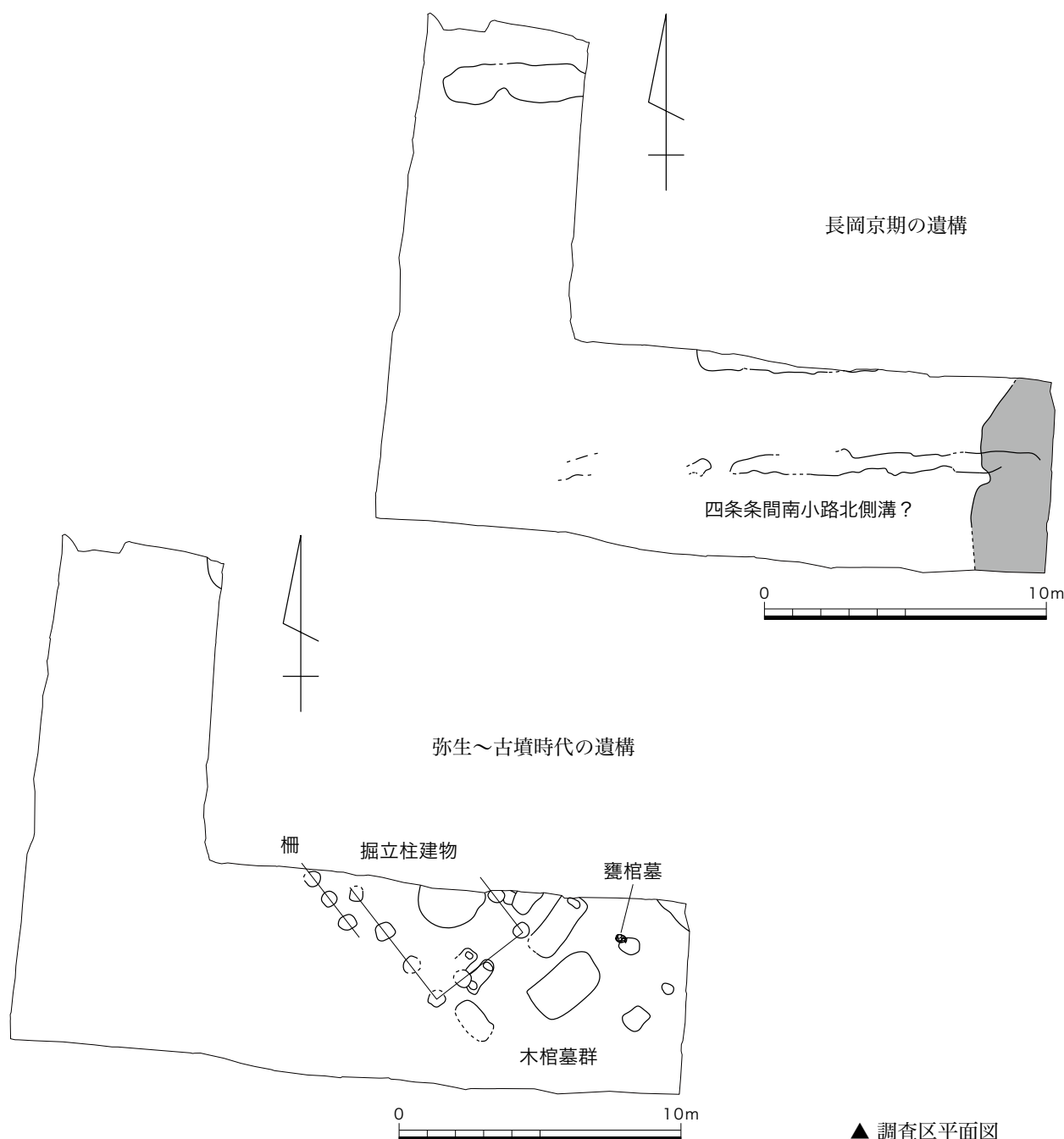
周辺地形 低位段丘Ⅰ **地表面標高** 28.0 m

調査成果（弥生・古墳・長岡京期・中世・近世）

近世の土坑、長岡京期の溝・土坑、古墳時代後期の木棺墓・甕棺墓・柵、弥生時代中期の土坑・落ち込みなど多数の遺構を確認しました。このうち、長岡京期の溝はその検出位置から、四条条間南小路北側溝の可能性がありま。また、古墳時代の遺構群は、陶器町遺跡の東辺域を検討する上で重要な資料といえます。



▲ 調査地位置図



▲ 調査区平面図

7 長岡京跡右京第1117次調査

調査期間 2015（平成27）年8月3日～12月24日

調査地 長岡京市開田四丁目612他

調査遺跡 右京六条二坊六・十一町、開田遺跡

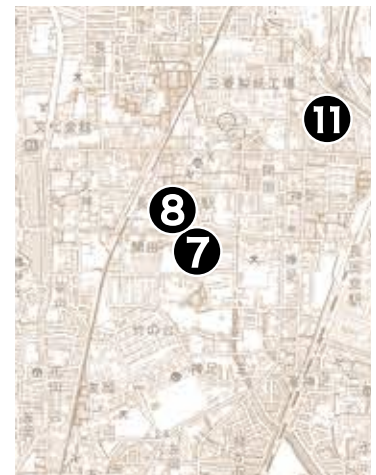
調査面積 1,238㎡ **担当者** 木村泰彦

周辺地形 緩扇状地 **地表面標高** 19.9 m

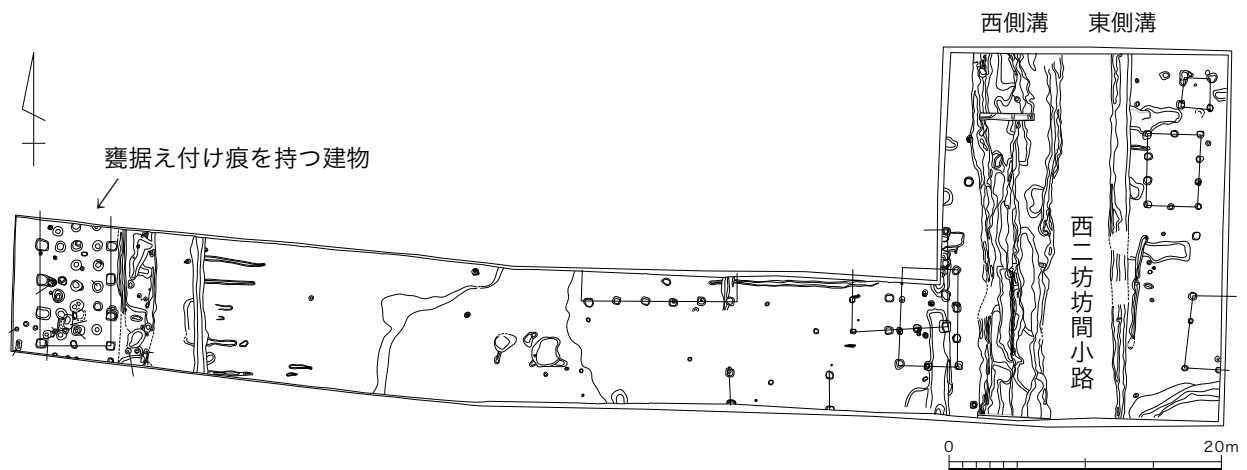
調査成果（長岡京期）

長岡京期では、西二坊坊間小路の東西両側溝と右京六条二坊六・十一町の宅地内建物などを検出しています。

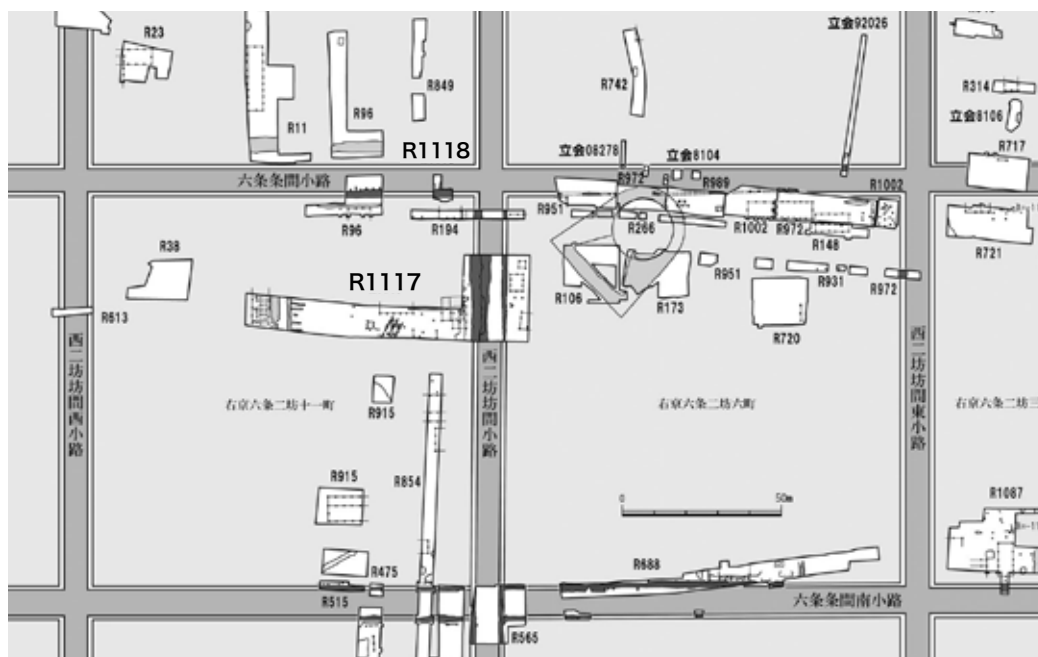
西二坊坊間小路の西側溝は非常に規模が大きく、その幅は上面で5～7m、一段低くなった部分でも幅2.5～3mを測り、深さは約1.2mにもなります。西側の十一町では大型の甕を据え付けた痕を持つ建物や、区画溝などが見つっています。



▲ 調査地位置図



▲ 調査区平面図



▲ 調査地と周辺の調査成果

11 長岡京跡右京第 1125 次調査

調査期間 2015（平成 27）年 12 月 15 日～12 月 28 日

調査地 長岡京市馬場一丁目 8-2

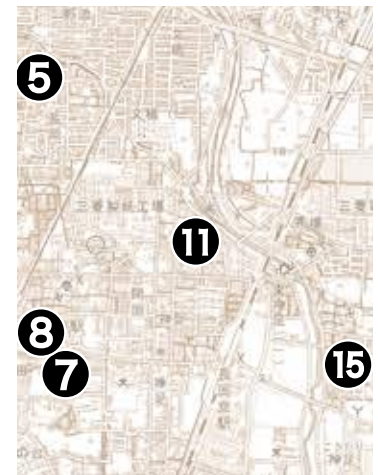
調査遺跡 右京五条一坊十二町、開田古墳群

調査面積 80m² **担当者** 原 秀樹

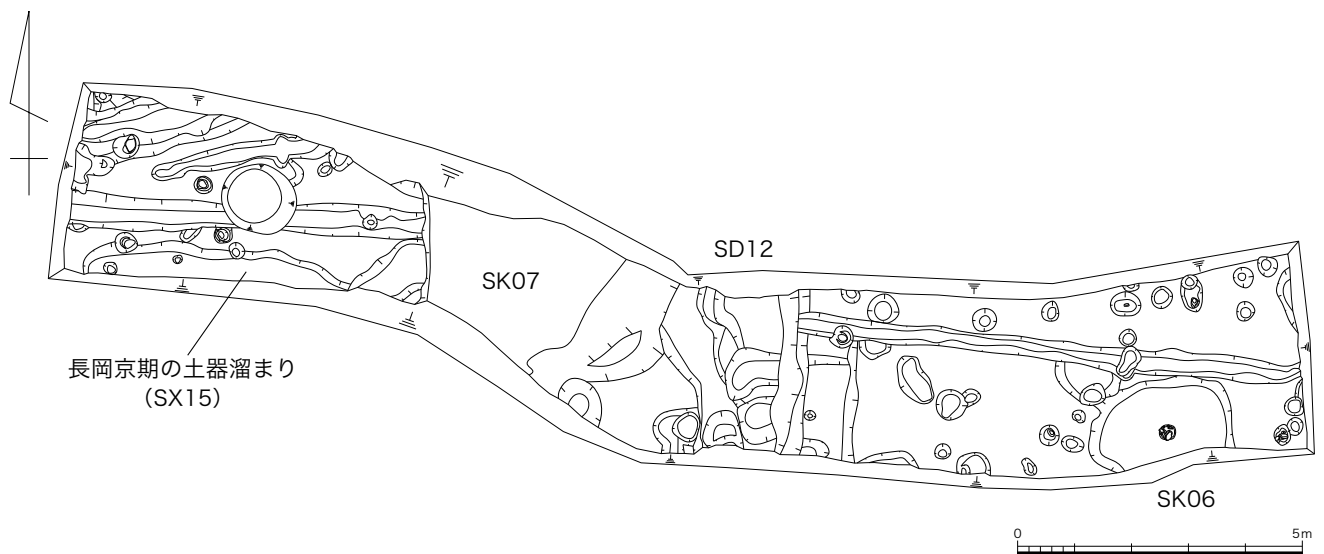
周辺地形 低位段丘 I **地表面標高** 21.2 m

調査成果（長岡京期・中世）

中世の規模の大きな溝（SD12）と土坑（SK06・07）のほか、柱穴を多数検出しました。馬場の中世集落跡の一面を占めるものと考えられます。長岡京期の土器溜まり（SX15）からは、緑釉陶器を含む多量の土器が出土しました。



▲ 調査地位置図



▲ 調査区平面図



▲ 壁面での土器溜まりの状況（北東から）

12 長岡京跡右京第 1126 次調査

調査期間 2016 (平成 28) 年 1 月 5 日～2 月 24 日

調査地 長岡京市今里畔町 24 他

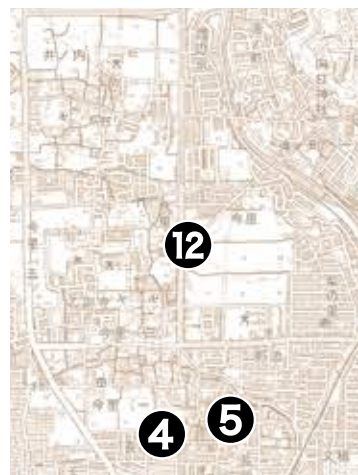
調査遺跡 右京三条二坊十四町、今里遺跡

調査面積 219m² **担当者** 木村泰彦

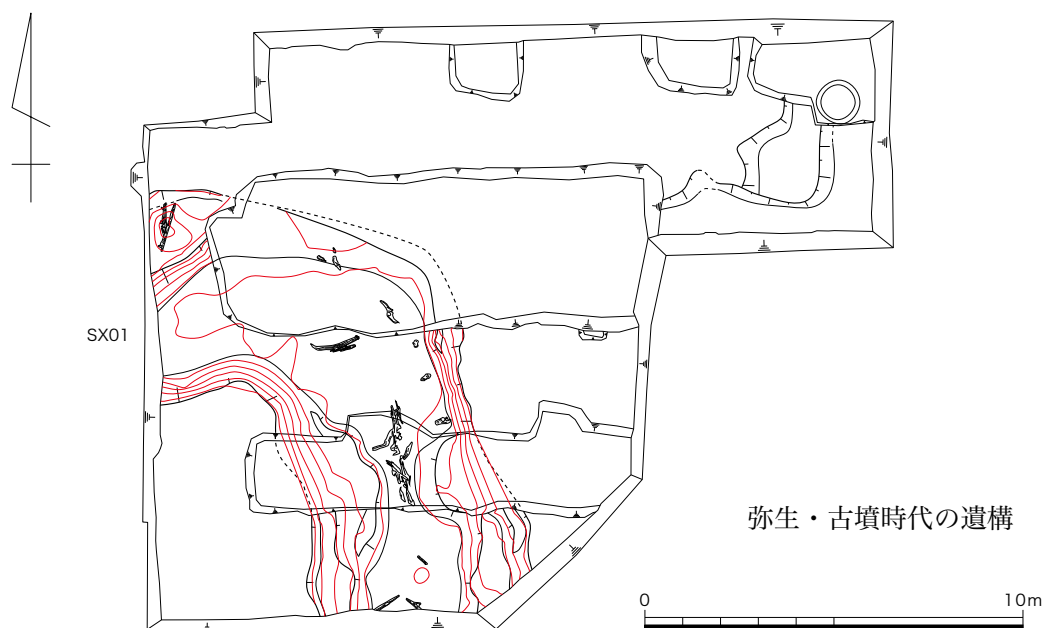
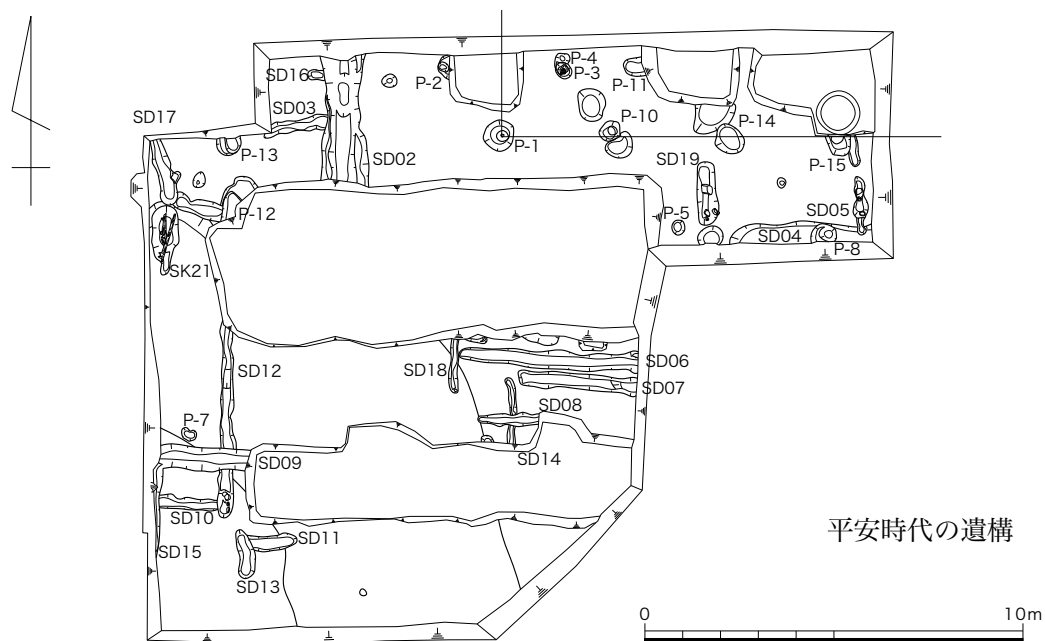
周辺地形 氾濫原 I **地表面標高** 28.0 m

調査成果 (弥生・古墳・平安)

弥生～古墳時代の流路と遺物堆積層、平安時代前期の建物と区画溝群、排水溝などを確認しました。平安時代の遺構からは緑釉陶器や灰釉陶器、軒瓦を含む大量の遺物が出土しています。なかでも鳥型硯の蓋は、羽毛を線刻した大変珍しいものです。



▲ 調査地位置図



▲ 調査区平面図

15 長岡京跡左京第 579 次調査

調査期間 2015（平成 27）年 5 月 11 日～6 月 24 日

調査地 長岡京市神足屋敷 53- 3

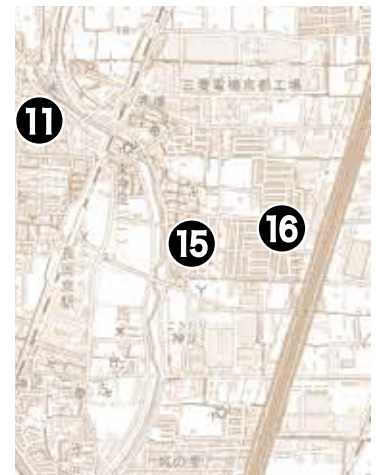
調査遺跡 左京六条一坊六町、雲宮遺跡

調査面積 226㎡ 担当者 原 秀樹

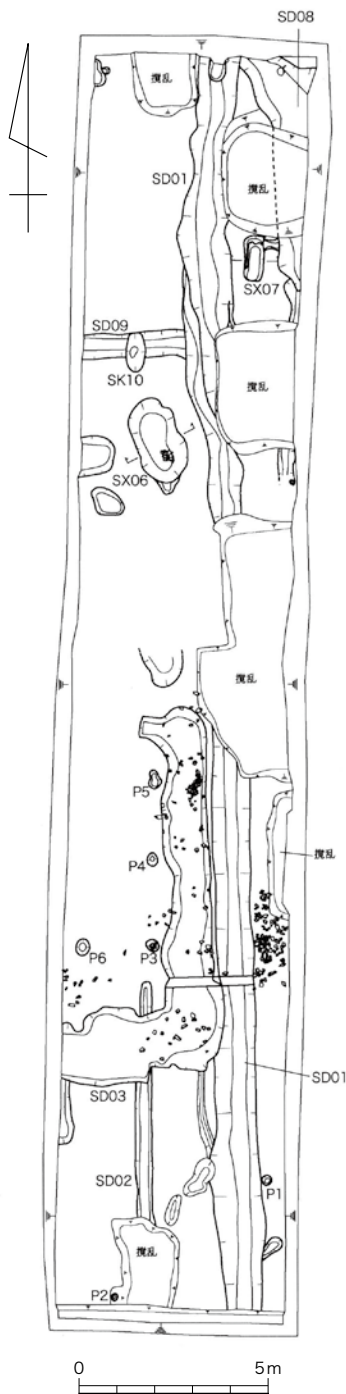
周辺地形 小畑川の作った扇状地 地表面標高 14.6 m

調査成果（弥生・中世）

鎌倉時代では、溝・掘立柱建物の柱穴（柱根などが残るもの、底に石を据えるもの）などが見つかり、中国製白磁を含む多量の土器類が出土しました。弥生時代では、溝・土壇などを確認しました。



▲ 調査地位置図



加工した木を据えたもの
(P29)

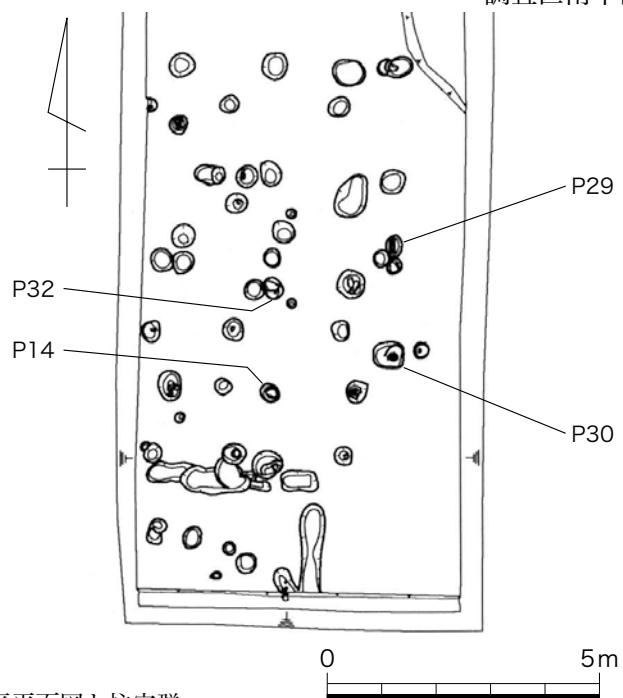


柱根の残るもの
(P30)



底に石を据えたもの
(左：P32 / 右：P14)

調査区南半部の柱穴群



▲ 調査区平面図と柱穴群

16 長岡京跡左京第 581 次調査

調査期間 2015（平成 27）年 7 月 1 日～8 月 18 日

調査地 長岡京市神足麦生 3-1 の一部

調査遺跡 左京六条一坊十四・十五町、東一坊大路

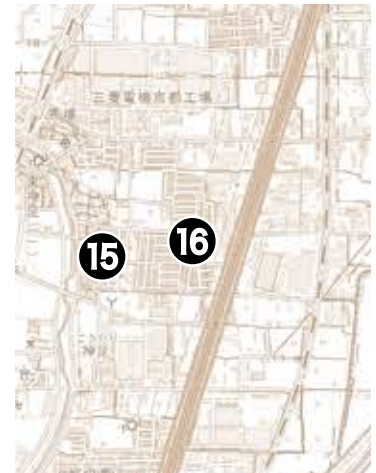
調査面積 162m² **担当者** 原 秀樹

周辺地形 小畑川の作った扇状地 **地表面標高** 13.6 m

調査成果（弥生・古墳・長岡京期）

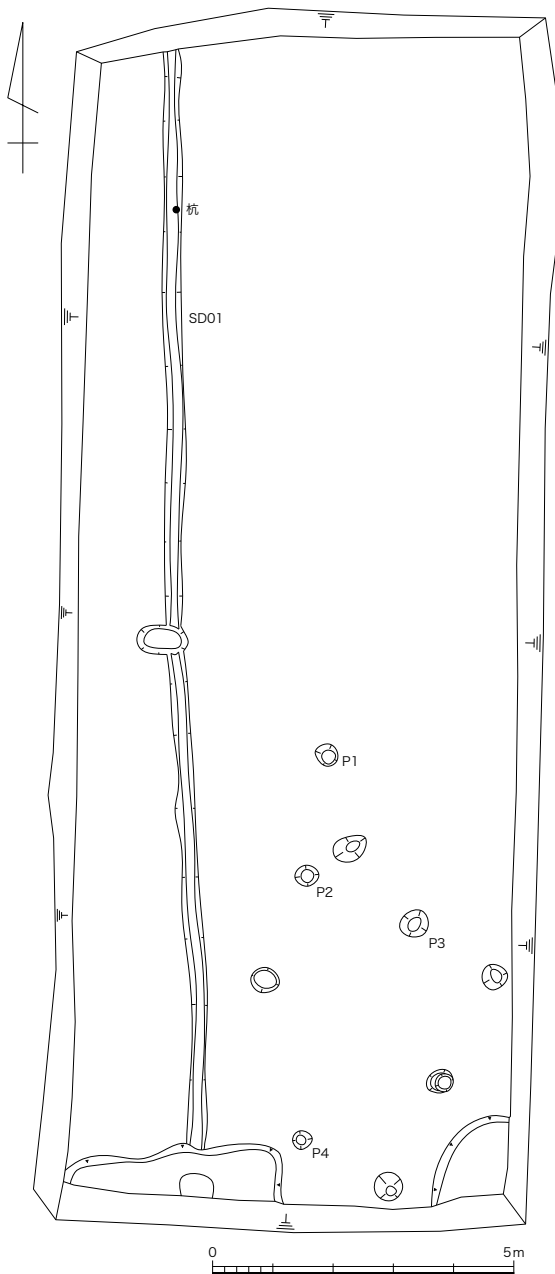
上層は、東一坊大路の路面に当たることから、長岡京期の遺構と遺物は希薄でした。

下層は、雲宮遺跡に関する古墳時代前期の溝と柱根が残存する柱穴、弥生時代前期の土坑などを確認しました。

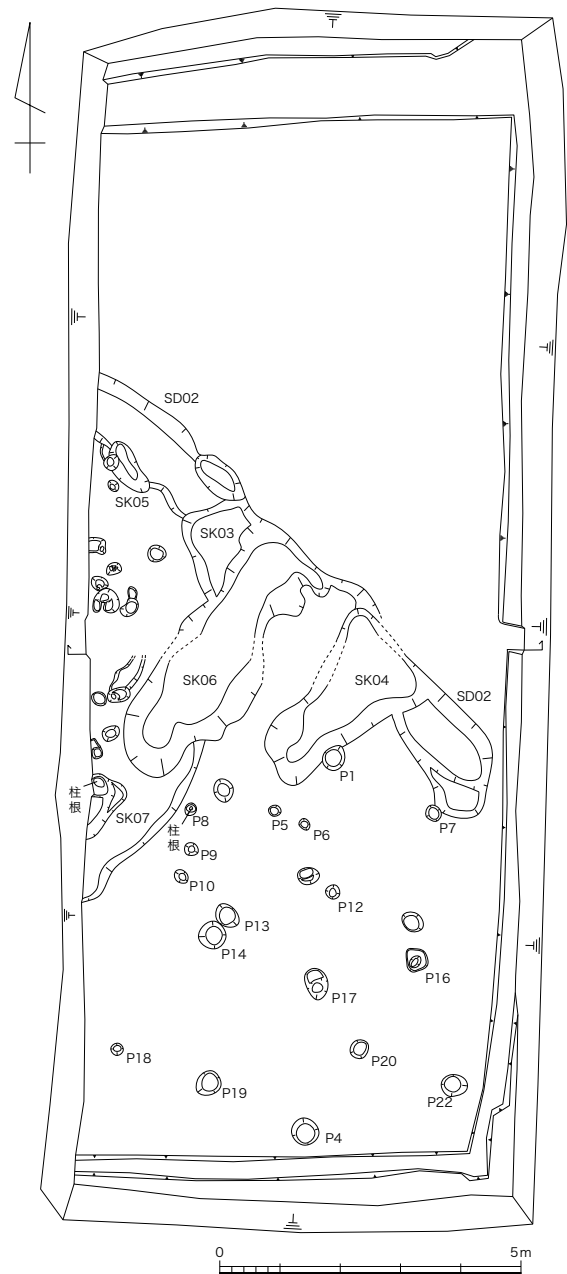


▲ 調査地位置図

上層の遺構



下層の遺構



▲ 調査区平面図

国庫補助 ① 長岡京跡右京第 1119 次調査

調査期間 2015 (平成 27) 年 8 月 20 日～ 11 月 25 日

調査地 長岡京市井ノ内向井芝 4

調査遺跡 右京二条四坊十五町、井ノ内車塚古墳 (第 8 次)

調査面積 148m² 担当者 中島皆夫

周辺地形 低位段丘 I 地表面標高 48 m 前後

調査成果 (古墳)

範囲確認調査。後円部裾南西部では造り出しの全形を確認し、大量の埴輪が出土しました。前方部前面東側では前方部の前面を画する溝を確認しました。後円部南東盗掘坑では須恵器や赤色顔料を検出し、横穴式石室の存在を示唆する資料が得られています。



▲ 調査地位置図

